

豊里 幼 児 園 保 育 教 育 課 程

教育理念 地域の文化にふれながら一人一人を大切に一人一人の可能性を認め人や物との関わりを大切に豊かな心を育てる。保育士が子どもの命を守ることや情緒の安定を図ること、保健衛生的な環境を作り生理的な欲求を満たす。							
教育方針 豊かな人間性をもった子どもを育成する。				教育目標 「生きる力」「生きる喜び」の基礎を育てることを目指す。			
発達過程とクラスの相関性 6年齢別(0・1歳児合同5クラス)に園生活を送る。保育指針の8つの発達段階(幼児保育及び教育指針)の発達段階を前提に年間指導計画が成されている。また子ども一人一人の成長段階を踏まえ養護と教育が一体となり保育は展開されている。				めざす幼児像 ○ 友だちと心を通わせながら遊べる子 ○ 自分で考えて意欲的に行動できる子 ○ 感性が豊かで色々なものに感動する子 ○ 物を大切にする子 ○体力のあるげんきな子		○ 主な行事 入園式、子どもの日、誕生会、 由良川花壇展植栽5歳児、給食参観日 親子遠足、家族参観日、個人面談、 七夕音楽祭、夕涼み会、お泊り保育 豊里地区敬老会、運動会、収穫祭 生活発表会、クリスマス会、おもちつき大会 節分、作品展、ALT(英語)、アートフェスタ、 市文化祭、卒園式、ピースフェスティバル ひな祭り	
こどもの 保育目標	0歳児	個々の生活リズムを整え基本的な生活習慣を養う。	2歳児	衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る。	4歳児		
	1歳児	安心できる保育者との関係の下で自分であろうとする気持ちが芽生える。	3歳児	保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現する。	5歳児	生活や遊びの中で一つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみんなで味わう。	
年 齢		保 育 の 内 容					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養 護	生命の保持	人への基本的信頼感が芽生えるようにする。	特定の保育士との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する。	生活や遊びの中で自我が育つような関わりをもつ。	基本的な生活を身につけられるように援助する。	自ら体調の変化に気づく。運動量が増し活発に活動できるように配慮する。	健康に関心を持ち生活に必要な習慣を身につけられるようにする。
	情緒の安定	身近な人、物に興味を持ったことを一緒に喜ぶことで愛されているという実感をもたせる。	スキンシップにより保育士とのかわりの心地よさや安心感を得るように接する。	子どもたちの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。	主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る。	多様な経験を通して自己肯定感を育み自信や保育士への信頼を獲得できるようにする。	生活リズムに応じた活動内容の調和を図り休息が取れるようにする。
教 育	健 康	清潔になる事の心地よさを感じる。	身の回りの簡単な事を自分ですりとする気持ちが芽生える。	生活の中で援助してもらいながら自分でできた事に喜びを感じる。	身の回りを清潔に生活に必要な活動を自分ですりとする。	自分の身体に関心を持ち異常に気づいたら自分から保育士に知らせる。	室内外の危険物や場所、危険な行動を知り気をつけて行動をする。
	人間関係	特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれる。	保育士や友だちに関心をもち真似をしたりして自らかわろうとする。	生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る。	友だちと簡単なルールのある身近な遊びをする中でルールを守る。	友だちと共同で使う物を使い楽しく遊ぶ経験をしたり大切に扱うことを知る。	遊びや行事を通して友だちを応援したり力を合わせることの大切さを知る。
	環 境	安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。	好きな玩具や遊具を持って関わり色々な遊びを楽しむ。	自然とふれあう中で簡単な言葉でのやり取りを楽しむ。	身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気づく。	身近な物や道具に興味を持って関わり考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに関心を持つ。
	言 葉	語りかけられることにより声を出したり応えようとする。	話しかけややりとりの中で声や言葉で気持ちを表そうとする。	生活や遊びの中で簡単な言葉でのやり取りを楽しむ。	友だちの話を聞いたり保育士に質問したり興味を持った言葉によるイメージを楽しむ。	保育士や友だちとの会話を楽しみ相手に伝わるように話す工夫をする。	人の話を聞いたり身近な文字にふれたりして言葉への興味を広げる。
	表 現	土や水等素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育む。	保育士と一緒に歌ったりリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。	保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。	色々な素材や用具に親しみ友だちと工夫して遊ぶ。	音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したりして一つのものをつくりあげる楽しさを味わう。	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう。
育 食	食を営む力の基礎	食べることに意欲を持つ。	食材に興味を持つ。	意欲的に食べるようにする。	食べることの楽しさを知る。	食べることに全うして命の大切さを知る。	食事と栄養のバランスをとる。体と食物の関係に関心を持つ。
健康支援				熱中症にならない様に過ごしやすい環境を作り水分補給等をして快適に生活できるようにする。病気にさせないために保健衛生的に留意する。健康状態、発達状態の安定的継続的な把握年2回の嘱託医による内科検診・歯科検診		研 修 計 画	
環境・衛生管理				施設内外の設備用具等の清掃、消毒、安全、管理及び自主点検、子ども及び職員の清潔保持年2回の外部業者による点検		特色ある保育	
安全対策・事故防止				交通事故に合わせないように自分の命を守る子どもたちを育てる。台風・災害等異常な状況時は職員と連携を取り適切に対応する。毎月避難訓練(火災・地震・不審者対応)を実施 消火訓練の実施、消防署査察、消防点検		地域の行事への参加	
保護者地域への支援				実習生等の受け入れ、育児講習会(育児講演、AED講習会)。集団生活の健康管理の理解。小さな怪我の理解と事故防止への協力。園開放、園だよりの配布、育児相談		小学校との連携	
				自己評価		行事、体験の相互交流、ブロック研、幼小の連絡会、幼児園要録の送付、幼児園行事等の案内状の送付 自己チェックの実施と危機管理マニュアルの作成 幼児園における外部評価・保育士の評価 (自己評価と子どもの評価の確立)	